

令和6年9月

一般財団法人熊本県伝統工芸館の
経営状況を説明する書類

熊 本 県

目 次

一般財団法人熊本県伝統工芸館の概要	1
-------------------	---

令和5年度の決算に関する書類

第1 事業状況報告書	7
------------	---

第2 決算書	16
--------	----

令和6年度の事業計画に関する書類

第1 事業計画書	25
----------	----

第2 収支予算書	31
----------	----

一般財団法人熊本県伝統工芸館の概要

一般財団法人熊本県伝統工芸館について

1 代表者

理事長 江藤 公俊

2 所在地

熊本市中央区千葉城町3番35号

3 設立年月日等

昭和57年6月28日 設立

昭和57年8月10日 熊本県伝統工芸館開館

平成22年11月1日 一般財団法人へ移行

4 設立目的

本県の伝統的工芸品産業の育成と振興、並びに伝統的工芸品に関する啓発普及を図ることにより、県民の生活に豊かさと潤いをもたらし、県民の生活文化の向上に寄与することを目的として設立。

5 基本財産

20,000千円

うち、県の出資額 20,000千円(県の出資割合 100%)

6 施設(熊本県伝統工芸館)の概要

鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階

建物面積 1,481㎡ 延床面積 3,017㎡

地階：地下会議室、和室

1階：一階展示室、展示即売室、工房、倉庫、休憩室、事務室

2階：常設展示室、二階会議室、二階展示室A、二階展示室B、
収蔵庫、資料室、館長室

令和5年度の決算に関する書類

第1 事業状況報告書

1 事業の概況

(1) 総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行し、インバウンドも回復する中、伝統工芸の振興に向けた取組みを進めてきた。令和4年度の伝統工芸館開館40周年関連事業のような大きな取組みは行わなかったものの、コロナ禍で遠のいた来場者を回復させるため、熊本県伝統工芸協会や熊本県技能士会、県内工芸作家等と連携し、子どもから大人まで取り組めるワークショップや、「木葉猿生誕1300年記念展」「THE CRAFTSMEN V~染師/鬼師/人形師/鋸鍛冶師~」「第41回くらしの工芸展」など主催・共催による企画展、県内工芸産地の育成に向けた活動に取り組んだ。

令和5年度末正味財産期末残高	90,549千円・・・a
令和4年度末正味財産期末残高	83,587千円・・・b
正味財産増減額(a-b)	6,962千円

工芸館の運営・管理及び伝統的工芸品の振興育成

工芸館の伝統的工芸品の常設展示、貸展示室、ショップ、工房等を備える多目的総合施設としての機能を維持するため、運営・管理を適正に行った。

また、県内外に向けて、工芸品産地の振興や工芸家の育成に関する啓発・普及に取り組んだ。

伝統的工芸品の販売促進

伝統的工芸品の販売促進(需要拡大)事業については、工芸ショップ「匠」での売上目標値は達成したものの、新型コロナウイルス感染症発生以前の水準には回復していない。通信販売についても積極的に取り組んでおり、引き続き販売力強化、売上げ向上に取り組む必要がある。

(2) 施設の利用状況

区 分		延日数	来場者数	主な利用形態
2階	企画常設展示室	186日	6,183人	常設展示のほか企画展示に使用
	展示室A	350日	15,974人	各種展示会に貸出
	展示室B	315日	12,259人	各種展示会に貸出
	会議室	4日	57人	各種会議等に貸出
1階	展示室	322日	23,343人	各種展示会に貸出
	工房	194日	2,487人	伝統工芸普及活動に使用
	工芸ショップ匠	306日	5,725人	伝統的工芸品販売
地下	和室	198日	6,815人	茶会及び各種展示会に貸出
	会議室	106日	4,778人	各種会議及び各種展示会に貸出
合計		1,981日	77,621人	(対前年度比 8%減)

(3) 観覧料及び使用料の収入状況

区 分	金 額	摘 要
企画常設展示室観覧料	436,560円	
各展示室使用料	6,422,220円	
各会議室使用料	950,290円	
合 計	7,809,070円	(対前年度比 2.3%減)

(4) 目標値と実績値

入館者数

目標値 年間 90,000人

実 績 77,621人(目標値の86%、対前年度比92%)

工芸品の売上げ

ア 工芸ショップ匠の売上

目標値 年間 30,000千円

実 績 32,650千円

(目標値の109%、対前年度比8%増)

イ 通信販売の売上

目標値 年間 1,500千円

実 績 1,540千円(目標値の103%、対前年度比8%減)

(内、ふるさと納税417千円、電話注文787千円を含む)

2 事業別概要

(1) 指定管理事業（指定管理部門）

伝統的工芸品及び関連する資料の収集、保管、展示に関する業務

備品（収蔵品）台帳に基づき、約4,500点の収蔵品を管理するとともに、「常設展示コーナー」において、工芸館が収蔵する国指定及び県指定の伝統的工芸品や、現代の暮らしに活かせる生活工芸品（桶、包丁、家具、竹細工、肥後象がん、陶磁器、玩具等）を展示した。

また、本県出身の工業デザイナーで工芸館の創設にも深く関わられた秋岡芳夫氏に関する写真資料の寄贈があった。

ア 2階企画常設展示室における企画展示

展示会名	開催時期	来場者数
木葉猿生誕 1300 年記念展	4/28 ~ 9/3	3,505人
THE CRAFTSMEN ～ 染師/鬼師/人形師/鋸鍛冶師 ～	10/7 ~ 1/8	2,570人

改修工事による工芸品の移動に伴う棚卸作業のため、令和6年1月から企画・常設展示室を閉鎖した。

イ 1階展示室における企画展示

(ア) 企画展

展示会名	開催時期	来場者数
涼の工芸展（友の会共催）	7/11 ~ 7/17	784人
くまもと工芸夏まつり（工芸協会共催）	8/1 ~ 8/6	296人
東北工業大学 連携協力協定事業 「北のクラフト展 2023」	8/8 ~ 8/20	1,171人
第41回くらしの工芸展 2023（熊日共催）	10/31 ~ 11/5	1,302人
暖の工芸展（友の会共催）	2/6 ~ 2/12	920人

(イ) 工芸産地育成支援展

県内の工芸産地育成のため、地域別、業種別の展示会を市町村の後援により開催し、消費者やバイヤーとの交流等により、販路拡大、新商品開発を促進した。

展示会名	開催時期	来場者数
宇土半島 和の職人展	4/25～4/30	919人
クマモトのアナログな工房展	5/16～5/21	300人
熊本 い草工芸展	5/23～5/28	620人
クラフトイン・上益城展	6/6～6/11	575人
八代の工芸 結の会展	9/12～9/18	320人
熊本県文化懇話会 クラフト部門展	10/17～10/22	856人
伝匠会展	12/5～12/10	615人
天草陶磁器展(国指定伝統的工芸品)	3/5～3/10	1,257人
あさぎり町てしごと展	3/19～3/24	540人

ウ その他展示室における企画展示

(伝統的工芸品の産地育成等をテーマとした展示会)

展示会名	開催時期	来場者数
肥後象がん伝統工芸士 作品展	5/23～5/28	379人

10/3～10/9に開催を予定していた「肥後象がん展」(国指定伝統的工芸品)は主催者の都合により中止した。

展示、研修及び会議のための施設提供及び施設使用許可に関する業務

施設の許可実績 219件 変更使用許可を含む

使用許可取消状況 15件

伝統的工芸品産業の振興及び発展に関する業務

ア 工芸館に関する広報

(ア) インターネット、マスメディアを用いた情報発信

これまで年4回発行していた催事予定のリーフレットは廃止し、ホームページ、SNS等により最新の情報を週1回程度発信した。

工芸館主催の企画展については、テレビ、新聞等のマスメディアに積極的に取材依頼を行い、効果的な情報発信に努めた。また、催事案内や展示会、工芸品、工芸家、工芸協会、工芸ショップ匠、熊本県伝統工芸館友の会(以下、「友の会」という。)等に関する各種情報についても、ホームページやブログ、フェイスブック、インスタグラム等を活用

するとともに、生活情報誌や友の会会報、観光情報誌、インターネットの情報サイト、企業の社内誌等へ広報の提案・紹介を意欲的に行い、多様な情報発信を行った。

(イ) 開館40周年記念誌の作成

開館40周年を記念し、工芸館に関わりの深い方々に寄稿いただき、40周年記念催事の記録等をまとめた記念誌を作成した。関係者への配布は令和6年度に行う。

イ 伝統的工芸品の作り手(工芸家)の人材育成

(ア) 後継者育成事業

熊本県が実施する伝統的工芸品産業新たな担い手確保育成支援事業に協力し、工芸家2名に後継者の候補2名をマッチングさせることができた。

ウ 伝統的工芸品産地の育成支援

(ア) 伝統的工芸品の国指定を受けた組合に対する支援

小代焼窯元の会、天草陶磁振興協議会、肥後象がん振興会、山鹿灯籠振興会については、会の運営や補助事業等について助言指導を行い、産地育成の取組みに対して支援を行った。

8月には、国指定4組合及び国(九州経済産業局)、県(本庁及び関係地域振興局)、関係市町村、熊本県伝統工芸協会会長による合同会議(意見交換会)を県と共催で開催し、指定後の歩み及び現状と直面する課題を関係者で共有した。

(イ) 伝統的工芸品産地の育成のための支援

県内産地が工芸館で開催する展示会等について、必要な助言指導を行うなど支援を行った。

エ 伝統的工芸品産業の振興を通じた地域貢献等

熊本大学付属特別支援学校と連携し、障がいのある生徒たちに対する出前製作教室や工房見学等を行う「伝福連携への取組み」を開始した。

また、小中高生等に伝統的工芸品等に対する理解を深めてもらうため、熊本市立西山中学校の生徒の職場体験の受入れや、熊本市立千原台高校への出前授業、ルーテル学院の生徒との共同イベント等を実施し、伝統工芸を制作する基礎技術やものづくりの魅力を伝え、伝統工芸への興味を高める取組みを行った。

小学校の修学旅行や社会見学等に対しては、希望に応じて企画・常設展示室の案内・解説を行った。

オ 伝統的工芸品産業に関する団体との連携

熊本県伝統工芸協会及び友の会については、総会、理事会の運営や同協会が行う事業への支援を行うとともに、(一財)伝統的工芸品産業振興協会や各県工業技術センター、各産地組合等とは、展示会の共同開催や情報交換を行い、連携を深めた。県内外の美術館・博物館等とは、展示会等の開催に当たって、展示品の相互貸借・情報の交換等の連携を図った。

また、連携協定を結んでいる東北工業大学と協力し、秋岡芳夫氏を知る関係者を招き、パネルディスカッションを開催した。

さらに、県上海事務所と連携し、^{せんせい}陝西省関係者との、子ども同士による県内の工房見学や製作体験など交流企画の検討や、韓国伝統文化産業研究所及び中国景德鎮陶磁大学との日中韓合同企画検討等を進めた。

その他、県内工芸家有志で作るグループや後継者等で作る伝承会への助成や展示会運営協力も行った。

カ 工芸館外での各種展示や催事等への協力による工芸品の紹介

(ア) イベントへの出展

県内外、国外における各種催事への展示・販売事業として、下記イベントに出展を行った。

イベント名	開催時期	会場
ソロプチミスト大会	4/23～4/24	熊本城ホール
熊本城大にぎわい市	10/7～10/9	花畑広場
フランス「伝統と先端と～日本の地方の底力～」	10/18～10/22 11/14～11/25	ディジョン パリ
手しごと処々～vol.3	10/21～11/21	宮城県仙台市
工芸品販売催事	1/24～2/4	C O C O S A
熊日RKK住宅展「肥後くまものものづくり暮らし作り」	2/10、2/25	熊日RKK住宅展センターハウス
さくらまつり	3/23	花畑広場
くまもと子ども芸術祭 2023	3/28	県立劇場
水前寺成趣園まつり	3/30～3/31	水前寺成趣園

(イ) 工芸品展示

熊本県庁における秘書グループ内陳列棚、知事応接室、1階ロビー県産品紹介棚、グランメッセ熊本の通路、熊本県信用保証協会のロビーでの展示紹介を通年で行うとともに、ホテルオークラ東京の客室フロアでの伝統的工芸品の展示を行った。

(2) 指定管理事業(ショップ部門)

伝統的工芸品の需要開拓

伝統的工芸品の販売額のアップや販売力の向上のため、以下の取組みを行った。

ア 工芸ショップ匠における伝統的工芸品の周知

工芸ショップの強みでもある誂えや修理を強調したPRや、SNSを活用したイベント情報、新商品の入荷情報などを積極的に発信することで、工芸館・工芸ショップ匠のさらなる周知を行った。

また、顧客やユーザーの要望に沿って、工芸家やギャラリーを積極的に紹介し、作り手と使い手がダイレクトにつながるよう支援を行った。

イ 工芸ショップ匠の販売力の向上

カタログ冊子の作成を計画していたが、価格変更を反映しやすいネットショップの商品を充実させ、カタログ冊子の代替とした。

また、全国旅行支援クーポン「くまもと再発見の旅」や「旅するくまモンパスポート」等に登録するなど、引き続き、顧客のニーズに対応した体制を整えた。

ウ 通信販売(ネットショップ・電話注文・ふるさと納税)

ネットショップの商品数を増やし、販売体制を強化するとともに、電話や企業等からの問合せにはネットショップのホームページを紹介・閲覧してもらい、注文に対応した。

エ 被災工芸家への支援

令和2年7月豪雨災害で被災された工芸家の方へのアドバイスや募金箱設置を行った。

また、令和5年5月と令和6年1月に発生した、能登半島地震で被災された工芸家の方々を支援するため募金箱の設置を行った。

販売商品の充実

工芸家に対する季節商品や新商品の出品の呼びかけや、商品受領のために職員が工房へ出向くことで、商品の充実を図った。

(3) 公益目的事業 (熊本県伝統的工芸品産業振興事業)

伝統的工芸品産業に係る人材を育成するための助成事業

ア チャレンジする工芸家に対する支援

熊本県の伝統的工芸品産業の技術の向上と後継者の確保を図るため、熊本県伝統工芸協会会員及び会員で構成されるグループが展示会等を開催する際の支援として、令和4年度に創設した伝統的工芸品振興チャレンジ推進助成金制度について、令和5年度も助成を行った。

(ア) 新商品開発及び展示販売への助成

新商品等の開発及び伝統的工芸品の展示・販売等を行う個人またはグループを対象とし、1個人、3グループに助成を行った。

(イ) 技術力や販売力向上のための助成

県及び財団が行う事業等に積極的に協力し又は取り組むことで、自らが制作する伝統的工芸品の技術力や販売力等の向上を目指す個人またはグループを対象とし、4個人に助成を行った。

イ 国内研修等を受ける工芸家に対する助成

熊本県伝統工芸館工芸研修助成資金として、伝統的工芸品産業に従事する若手工芸家や将来の発展が期待できる者の研修費用を一部助成しており、令和5年度も募集したが、申込みがなかった。

匠の技と心記録事業

令和4年度に実施した県の「伝統工芸情報発信(アーカイブ)事業」において記録した工芸家の映像を企画展「THE CRAFTSMEN」で紹介するとともに、ワークショップやセミナーも開催することにより、匠のものづくりの精神と卓越した技術を広く周知した。また、令和4年度以前に同事業により作成した工芸家の映像も館のホームページ等で紹介した。

伝統的工芸品普及広報事業

熊本県の伝統的工芸品のすばらしさをホームページやSNS、マスコミの活用によって広く発信することによって、伝統的工芸品産業振興を図った。

ア 県内関係機関との連携

水前寺成趣園やサクラマチ等での市町村や商工団体等が実施するイベントへ積極的に参加し、国内外の方々が伝統工芸に触れる機会を増やすとともに、伝統工芸に関する理解を深めた。

イ ワークショップ・講演会等の実施

熊本県伝統工芸協会や熊本県技能士会、県内工芸家等と連携してワーク

ショップやセミナー等を計19回開催したほか、企画展関連イベントとしても計8回開催した。また、新たな試みとしてKKRホテル熊本と連携し、高田焼教室で制作した器に、KKRホテルの中華料理教室で作った料理を盛り付けて食べるワークショップのコラボ企画を開催した。

ウ 県内施設・団体との連携事業

KKRホテル熊本と連携し、昨年に引き続き、同ホテル和食レストラン「日本料理まつり」において、熊本のうつわを用いてランチを提供していただき、伝統的工芸品のPRを行った。

エ 熊本の伝統工芸の魅力発信事業

開館40周年事業を契機に、工芸館創設時に深く関わった工業デザイナー秋岡芳夫氏の提案や活動を企画展「北のクラフト展」で紹介し、東北工業大学と連携してパネルディスカッションも開催することで、新たな工芸の魅力を発信した。

また、熊本城周辺施設や県内外の施設と連携し、展示販売会等を通して熊本の伝統工芸に関する情報を発信した。

第2 決算書

貸借対照表

令和6年3月31日現在

一般会計		(単位：円)		
科 目	当年度	前年度	増 減	
資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	58,396,961	44,369,713	14,027,248	
商品	157,169	122,843	34,326	
未収金	19,607	222,429	202,822	
売掛金	1,356,581	1,246,585	109,996	
立替金	0	520	520	
前払金	77,000	103,400	26,400	
流動資産合計	60,007,318	46,065,490	13,941,828	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000	0	
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0	
(2) 特定資産				
退職給付引当預金	3,414,325	3,426,964	12,639	
財政調整積立金	15,500,000	15,500,000	0	
産業振興資金	1,802,470	2,710,946	908,476	
工芸品等取得資金	4,278,382	4,278,346	36	
企画展事業積立金	3,000,000	3,000,000	0	
特定資産合計	27,995,177	28,916,256	921,079	
(3) その他固定資産				
工芸品	2,345,751	2,345,751	0	
車両運搬具	1	1	0	
その他固定資産合計	2,345,752	2,345,752	0	
固定資産合計	50,340,929	51,262,008	921,079	
資産合計	110,348,247	97,327,498	13,020,749	
負債の部				
1. 流動負債				
未払金	4,911,205	4,348,056	563,149	
預り金	3,563,551	2,554,153	1,009,398	
前受金	511,700	616,346	104,646	
賞与引当金	1,642,456	1,481,640	160,816	
未払法人税等	3,570,400	128,800	3,441,600	
未払消費税等	2,185,200	1,184,100	1,001,100	
流動負債合計	16,384,512	10,313,095	6,071,417	
2. 固定負債				
退職給付引当金	3,414,325	3,426,964	12,639	
固定負債合計	3,414,325	3,426,964	12,639	
負債合計	19,798,837	13,740,059	6,058,778	
正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0	
2. 一般正味財産				
正味財産合計	70,549,410	63,587,439	6,961,971	
負債及び正味財産合計	110,348,247	97,327,498	13,020,749	

貸借対照表内訳表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計			
	実施事業等会計	その他会計	法人会計	小計
資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	593,776	57,803,185	0	58,396,961
商品	0	157,169	0	157,169
未収金	0	19,607	0	19,607
売掛金	0	1,356,581	0	1,356,581
前払金	0	77,000	0	77,000
流動資産合計	593,776	59,413,542	0	60,007,318
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	0	0	20,000,000	20,000,000
基本財産合計	0	0	20,000,000	20,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当預金	0	3,414,325	0	3,414,325
財政調整積立金	0	15,500,000	0	15,500,000
産業振興資金	1,802,470	0	0	1,802,470
工芸品等取得資金	0	4,278,382	0	4,278,382
企画展事業積立金	0	3,000,000	0	3,000,000
特定資産合計	1,802,470	26,192,707	0	27,995,177
(3) その他固定資産				
工芸品	0	2,345,751	0	2,345,751
車両運搬具	0	0	1	1
その他固定資産合計	0	2,345,751	1	2,345,752
固定資産合計	1,802,470	28,538,458	20,000,001	50,340,929
資産合計	2,396,246	87,952,000	20,000,001	110,348,247
負債の部				
1. 流動負債				
未払金	19,756	4,841,949	49,500	4,911,205
預り金	7,242	3,556,309	0	3,563,551
前受金	0	511,700	0	511,700
賞与引当金	0	1,642,456	0	1,642,456
未払法人税等	0	3,570,400	0	3,570,400
未払消費税等	0	2,185,200	0	2,185,200
流動負債合計	26,998	16,308,014	49,500	16,384,512
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	3,414,325	0	3,414,325
固定負債合計	0	3,414,325	0	3,414,325
負債合計	26,998	19,722,339	49,500	19,798,837
正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	20,000,000	20,000,000
2. 一般正味財産				
正味財産合計	2,369,248	68,229,661	49,499	70,549,410
負債及び正味財産合計	2,396,246	87,952,000	20,000,001	110,348,247

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	340	105	235
基本財産利息収入	340	105	235
特定資産運用益	113	108	5
退職給与引当利息	53	39	14
産業振興助成積立金利息	24	35	11
工芸品等取得預金利息	36	34	2
事業収益	18,254,177	17,626,708	627,469
受取運営事業収益	228,678	231,124	2,446
販売手数料等収入	9,406,140	8,330,338	1,075,802
ネットショップ売上収入	74,311	62,454	11,857
商品売上収入	735,978	1,012,392	276,414
使用料・観覧料収入	7,809,070	7,990,400	181,330
受取指定管理料	79,122,620	80,280,000	1,157,380
県受託金収入	79,122,620	80,280,000	1,157,380
受取寄付金	76,577	3,908	72,669
受取寄付金	76,577	3,908	72,669
雑収益	542,237	1,940,800	1,398,563
運用財産受取利息	685	735	50
雑収益	232,252	1,940,065	1,707,813
退職給与引当金取崩	309,300	0	309,300
経常収益計	97,996,064	99,851,629	1,855,565
(2) 経常費用			
事業費	89,232,856	97,345,241	8,112,385
給与手当	27,624,054	29,516,186	1,892,132
臨時雇賃金	9,396,500	7,946,895	1,449,605
賞与	3,880,291	5,361,426	1,481,135
退職給付費用	416,580	353,468	63,112
退職年金掛金	878,910	919,477	40,567
福利厚生費	6,352,056	6,380,167	28,111
報酬	11,000	0	11,000
会議費	121,503	230,266	108,763
旅費交通費	692,509	1,594,026	901,517
交際費	291,149	423,175	132,026
通信運搬費	1,207,108	2,040,297	833,189
広告料	469,854	1,855,267	1,385,413
消耗什器備品費	301,817	165,000	136,817
消耗品費	1,917,323	2,641,854	724,531
修繕費	206,030	273,530	67,500
印刷製本費	316,337	1,258,085	941,748
光熱水料費	7,863,307	8,671,189	807,882
賃借料	1,006,714	1,065,273	58,559
保険料	37,380	52,670	15,290

支払手数料	556,512	540,426	16,086
諸謝金	803,000	1,266,093	463,093
租税公課	10,397,710	7,631,937	2,765,773
工芸品収集費	0	200,000	200,000
支払負担金	245,768	841,689	595,921
支払助成金	903,000	486,000	417,000
支払寄付金	0	484,000	484,000
委託費	11,220,295	12,764,421	1,544,126
商品仕入費	469,733	757,714	287,981
賞与引当金繰入	1,642,456	1,481,640	160,816
雑費	3,960	94,410	90,450
雑損失	0	660	660
交際費	0	48,000	48,000
管理費	1,801,237	2,521,879	720,642
役員報酬	165,500	176,000	10,500
給与手当	563,756	602,371	38,615
賞与	79,189	109,416	30,227
退職年金掛金	19,770	20,683	913
福利厚生費	136,254	136,857	603
報酬	0	176,000	176,000
会議費	2,500	8,100	5,600
旅費交通費	73,552	145,834	72,282
通信運搬費	18,803	38,100	19,297
消耗品費	63,447	87,348	23,901
印刷製本費	11,133	38,705	27,572
光熱水料費	185,113	204,132	19,019
保険料	57,770	58,480	710
支払手数料	660	990	330
租税公課	27,790	223,863	196,073
委託費	396,000	495,000	99,000
経常費用計	91,034,093	99,867,120	8,833,027
評価損益等調整前当期経常増減額	6,961,971	15,491	6,977,462
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,961,971	15,491	6,977,462
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,961,971	15,491	6,977,462
一般正味財産期首残高	63,587,439	63,602,930	15,491
一般正味財産期末残高	70,549,410	63,587,439	6,961,971
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	0
正味財産期末残高	90,549,410	83,587,439	6,961,971

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計			
	実施事業等 計	その他会計	法人会計	小計
一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	340	0	340
基本財産利息収入	0	340	0	340
特定資産運用益	24	89	0	113
退職給与引当利息	0	53	0	53
産業振興助成積立金利息	24	0	0	24
工芸品等取得預金利息	0	36	0	36
事業収益	0	18,254,177	0	18,254,177
受取運営事業収益	0	228,678	0	228,678
販売手数料等収入	0	9,406,140	0	9,406,140
ネットショップ売上収入	0	74,311	0	74,311
商品売上収入	0	735,978	0	735,978
使用料・観覧料収入	0	7,809,070	0	7,809,070
受取指定管理料	0	79,122,620	0	79,122,620
県受託金収入	0	79,122,620	0	79,122,620
受取寄付金	76,577	0	0	76,577
受取寄付金	76,577	0	0	76,577
雑収益	4	542,233	0	542,237
運用財産受取利息	4	681	0	685
雑収益	0	232,252	0	232,252
退職給与引当金取崩	0	309,300	0	309,300
経常収益計	76,605	97,919,459	0	97,996,064
(2) 経常費用				
事業費	2,516,462	86,651,394	65,000	89,232,856
給与手当	845,634	26,778,420	0	27,624,054
臨時雇賃金	0	9,396,500	0	9,396,500
賞与	118,784	3,761,507	0	3,880,291
退職給付費用	0	416,580	0	416,580
退職年金掛金	14,378	864,532	0	878,910
福利厚生費	116,789	6,235,267	0	6,352,056
報酬	0	11,000	0	11,000
会議費	0	121,503	0	121,503
旅費交通費	5,999	686,510	0	692,509
交際費	0	291,149	0	291,149
通信運搬費	13,898	1,193,210	0	1,207,108
広告料	0	469,854	0	469,854
消耗什器備品費	0	301,817	0	301,817
消耗品費	22,814	1,894,509	0	1,917,323
修繕費	0	206,030	0	206,030
印刷製本費	3,602	312,735	0	316,337
光熱水料費	136,823	7,726,484	0	7,863,307
賃借料	0	1,006,714	0	1,006,714
保険料	13,000	24,380	0	37,380
支払手数料	6,820	549,692	0	556,512
諸謝金	94,921	708,079	0	803,000
租税公課	0	10,332,710	65,000	10,397,710
支払負担金	0	245,768	0	245,768
支払助成金	903,000	0	0	903,000

委託費	220,000	11,000,295	0	11,220,295
商品仕入費	0	469,733	0	469,733
賞与引当金繰入	0	1,642,456	0	1,642,456
雑費	0	3,960	0	3,960
管理費	196,246	0	1,604,991	1,801,237
役員報酬	0	0	165,500	165,500
給与手当	0	0	563,756	563,756
賞与	0	0	79,189	79,189
退職年金掛金	0	0	19,770	19,770
福利厚生費	136,254	0	0	136,254
会議費	0	0	2,500	2,500
旅費交通費	59,992	0	13,560	73,552
通信運搬費	0	0	18,803	18,803
消耗品費	0	0	63,447	63,447
印刷製本費	0	0	11,133	11,133
光熱水料費	0	0	185,113	185,113
保険料	0	0	57,770	57,770
支払手数料	0	0	660	660
租税公課	0	0	27,790	27,790
委託費	0	0	396,000	396,000
経常費用計	2,712,708	86,651,394	1,669,991	91,034,093
評価損益等調整前当期経常増減額	2,636,103	11,268,065	1,669,991	6,961,971
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	2,636,103	11,268,065	1,669,991	6,961,971
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,636,103	11,268,065	1,669,991	6,961,971
他会計振替額	1,783,084	3,408,170	1,625,086	0
当期一般正味財産増減額	853,019	7,859,895	44,905	6,961,971
一般正味財産期首残高	3,222,267	60,369,766	4,594	63,587,439
一般正味財産期末残高	2,369,248	68,229,661	49,499	70,549,410
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	20,000,000	20,000,000
正味財産期末残高	2,369,248	68,229,661	19,950,501	90,549,410

財産目録

令和 6年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	343,710
	預金	普通預金		58,053,251
		商工中金		440
		熊ファ：振興基金		170
		肥後銀行 会計口座		23,875,896
		ショップ売上金		19,913,071
		肥後：プール		1,734,426
		肥後：寄付金		593,776
		肥後：会場使用		11,114,514
		肥後：観覧料		820,958
	商品			157,169
	未収金			19,607
	その他			19,607
	売掛金			1,356,581
	前払金			77,000
流動資産合計				60,007,318
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金			20,000,000
特定資産				
	退職給付引当預金			3,414,325
	財政調整積立金			15,500,000
	産業振興資金			1,802,470
	工芸品等取得資金			4,278,382
	企画展事業積立金			3,000,000
その他固定資産				
	工芸品			2,345,751
	車両運搬具			1
固定資産合計				50,340,929
資産合計				110,348,247
(流動負債)				
	未払金			4,911,205
	売上金			2,337,999
	その他			2,573,206
	預り金			3,563,551
	ショップ売上			1,734,409
	源泉税			64,038
	住民税			111,200
	社会保険			1,653,904
	前受金			511,700
	施設利用料			195,140
	商品券			311,000
	その他の前受金			5,560
	賞与引当金			1,642,456
	未払法人税等			3,570,400
	未払消費税等			2,185,200
流動負債合計				16,384,512
(固定負債)				
	退職給付引当金			3,414,325
固定負債合計				3,414,325
負債合計				19,798,837
正味財産				90,549,410

令和6年度の事業計画に関する書類

第1 事業計画書

1 事業の概要

(1) 総括

令和6年度は、指定管理者として第4期の4年目の年度である。本年度中から、工芸館の老朽化による大規模な改修工事に着手し、1年以上に渡る長期の閉館を予定している。

そのため、熊本県伝統工芸館条例第1条に規定されている「伝統的工芸品産業の振興及び発展」に向け、熊本県との指定管理に関する協定に基づく工芸館の管理運営を行っている一般財団法人熊本県伝統工芸館にとっては、工芸館を離れて業務を行うこととなるが、これまで工芸館を活用してきた工芸家や各種団体との関係を維持し、支援を継続できるよう業務に取り組んでいく。

工芸館がリニューアルオープンするまでの間も、工芸館開館以来のコンセプトである「手で観る、市の立つ、誂えが利く工芸館」の精神を忘れずに、工芸家と工芸ファンに信頼される工芸館であり続けられるよう努めていく。

(2) 工芸家への支援

県の伝統的工芸品の振興及び発展に向け、工芸家の方々の事業支援や後継者育成等は喫緊の課題であり、工芸館の閉館中も切れ目なく取り組んでいく必要がある。県及び関係団体、工芸家の方々等との連携・協力は重要で、特に、各工芸家の現状やそれぞれが抱える課題等の把握を進め、対応を考えていくことが求められる。長期の閉館期間中、各工芸家・工房を積極的に訪問し、これまで十分でなかった直接交流によるカルテ作成などに取り組む。併せて、「チャレンジする」工芸家支援のための新たな事業に引き続き取り組むとともに、県が実施する後継者育成事業を支援する。

(3) 伝統的工芸品の販路確保

閉館中の代替の販売方策の確保は最優先で取り組むとともに、通販の拡大も図っていく。併せて、リニューアル後の工芸館での伝統的工芸品売上増加拡大に結びつく仕組みの構築を専門家と共に検討を進める。

(4) 工芸ファンの繋ぎ止め

工芸ファンの交流の場となっている工房も閉鎖されることから、工芸ファンの情熱の灯を消さないよう代替施設での運用を行う。

2 事業別概要

(1) 指定管理事業（指定管理部門）

伝統的工艺品及び関連する資料の収集、保管、展示に関する業務

ア 伝統的工艺品等の展示業務

(ア) 商業施設等における展示

収蔵品等の検品梱包作業により、2階企画・常設展示室は令和6年1月から閉鎖しているため、イベントや民間商業施設等を活用してのポップアップ展示により、特に若年層への工芸ファンの拡大を図る。

(イ) 1階展示室における企画展示（開館中）

公募展、伝統的工艺品産地育成等をテーマとした展示会を開催する。

企画展名	開催時期
熊本い草工芸展	5/21～5/26
涼の工芸展	7/8～7/15
未来の伝統工芸士ワークショップ	7/23～7/28
第42回くらしの工芸展2024	8/6～8/12

(ウ) その他展示室における企画展示（開館中）

伝統的工艺品の普及啓発・産地育成等をテーマとした展示会を開催する。

(エ) 工芸ショップ匠における企画展示

季節ごとに、伝統的工艺品を用いた生活提案コーナーやギフトコーナーを設置する。

イ 伝統的工艺品等の収集業務

改修工事による閉館となるため、収集業務は休止する。

ウ 伝統的工艺品等の保管業務

備品（収蔵品）については、工芸館の改修工事に伴う保管場所の移転を機に、備品台帳等と現物との整合を図り、適切に管理を行う。

伝統的工芸品産業の振興及び発展に関する業務

ア 工芸館に関する広報

(ア) インターネット・マスメディアの活用

テレビ、新聞等のマスメディアに積極的に取材依頼を行う等、パブリシティによる効果的な情報発信に努める。また、ホームページやSNS、各種情報誌、インターネットの情報サイト、企業の社内誌等へ広報の提案・紹介を意欲的に行い、多様な情報発信に努める。

(イ) 国外への情報発信

ホームページの英語表記を行うことにより、海外に向け情報発信を行う。

イ 伝統的工芸品の作り手（工芸家）の人材育成

(ア) 後継者育成事業

後継者育成に係る道具費・材料費・研修費等の育成費用を支援する(県委託事業)。

ウ 伝統的工芸品産地の育成支援

(ア) 伝統的工芸品の国指定を受けた組合に対する支援

小代焼窯元の会、天草陶磁振興協議会、肥後象がん振興会、山鹿灯籠振興会の国指定4組合について、会の運営等に係る助言、展示会の後援等を行う。

さらに、各組合の取組み情報の共有を図り、今後の支援策を検討する。

(イ) 伝統的工芸品産地の育成のための支援

県内の産地が開催する、工芸館での地域別・業種別の展示会等に必要な助言指導を行うとともに、工芸館としてこれを後援する。

エ 伝統的工芸品産業の振興を通じた地域貢献等

小中高校生等に伝統的工芸品等に対する理解を深めてもらうため、中学生（ナイストライ）、高校生・大学生（インターンシップ）の職場体験受入れや、伝統的工芸品に関する出前授業又は体験学習を実施するとともに、熊本市教育センターと連携して、伝統工芸の伝承を目的とする子ども教室事業（不登校児童・生徒対策事業）に取り組む。

さらに、県内大学生の卒業作品の展示等への協力や、学芸員の実習生の受入れも行う。

オ 伝統的工芸品産業に関する団体との連携

熊本県伝統工芸協会及び友の会については、総会、理事会の運営や同協会が行う事業への支援を行うとともに、(一財)伝統的工芸品産業振興協会や各県工業技術センター、各産地組合等とは、展示会の共同開催や情報交

換を行い、連携を深める。県内外の美術館・博物館等とは、展示会等を開催する際に、展示品の相互貸借・情報の交換等により連携を図る。

また、連携協定を結んでいる東北工業大学と協力し、熊本の工芸産地の新たな取組みの検討や、シンポジウム等を開催する。

さらに、韓国忠清南道の忠清工芸協同組合をはじめ、海外の伝統的工芸品産業団体とは、工芸家の研修や交流、展示会の共同共催などを通じて、相互の伝統的工芸品の広報・販路拡大、工芸家の技術向上に資するよう、連携した活動を行う。

カ 工芸館外での各種展示や催事等への協力による伝統的工芸品の紹介

県庁秘書グループ内陳列棚や、県庁1階ロビー県産品紹介棚、グランメッセ、協力企業等で伝統的工芸品を展示するとともに、県内の博物館・美術館・公民館等の各種催事に伝統的工芸品を出展・出品する。さらに、近傍商店街との連携を深め、商店街催事で伝統的工芸品の展示等を行い、商店街発行の割引チケットを工芸館でも利用できるように提携を図る。

キ 伝統的工芸品に関する相談

一般県民や伝統的工芸品の製作者、マスコミ等からの質問や相談に対しては、専門的知識を持つ職員により、適切かつ丁寧に対応する。

ク 被災された工芸家への支援

令和6年能登半島地震で被災された工芸家に対して、石川県立伝統産業工芸館を通して支援展、寄付等を行う。

(2) 指定管理事業(ショップ部門)

伝統的工芸品の需要開拓

ア ショップの販売力向上

改修工事に伴う閉館により、ショップ利用者の減少が見込まれるため、売上目標は、15,000千円(内、ネット・テレフォンショップ売上目標は、1,500千円)とする。売上目標を達成するため、全ての職員が、熊本の伝統的工芸品や工芸家、工芸技術に関する知識を向上させるとともに、顧客に対し丁寧に対応・説明が行える体制を整備する。

イ 需要開拓の取組み

ホームページにおいて、記念品や贈答品について誂え等も含めた商品情報を多く紹介し、工芸館の強みをPRする。併せて、取り扱っている伝統的工芸品を紹介するチラシを作成し、ホテルや企業等に配布しPRする。

特に、ロビー等に飾る伝統的工芸品の販売・展示アドバイス等を積極的に行っていく。

また、旅行会社や関係機関と連携し、観光ルートへ工芸館を組込むこと

により観光客の誘致を図る。

ウ 通信販売（インターネットショップ・電話注文・ふるさと納税）

インターネットによる注文手続きが不慣れな方が注文しやすいよう、電話での注文にも積極的に対応する。また、ショップホームページの商品ラインナップの充実とSNS等も利用し、週1回の情報発信を行う。

販売商品の充実

令和6年度については代替施設での運営となるが、引き続き伝統的工艺品のアレンジやコラボ等の提案・調整を工芸家に行い、新商品開発及び販売に繋がる支援を行っていく。

（3）公益目的事業（熊本県伝統的工艺品産業振興事業）

伝統的工艺品産業に係る人材を育成するための助成事業

ア チャレンジする工芸家に対する助成（令和4年度～6年度事業）

伝統的工艺品を製作する工芸家、その後継者及び将来の伝統工芸作家を目指す若手工芸家が行う新商品の開発や、伝統的工艺品の展示・販売に係る経費の一部を助成する。また、県及び工芸館等と連携した事業を行う者に対して、事業実施に係る経費の一部を助成する。

イ 国内研修等を受ける工芸家に対する助成

伝統的工艺品産業の技術の向上と後継者の育成を図るため、県内外の工芸展において優秀な成績を修めた者や伝統的工艺品産業に従事し、将来の発展が期待できる者などが研修を受ける場合に、経費の一部を助成する。

県内工芸家の情報収集等

工芸家の卓越した匠の技と心を映像で記録して後世に残し、伝統的工艺品産業の振興を図るため、工芸館独自に県指定の工芸家を中心に現況等の情報を収集し、必要に応じてアーカイブ映像とともに工芸館のホームページ等で紹介することでより広く周知する。

伝統的工艺品普及広報事業

本県の伝統的工艺品のすばらしさを広く発信することによって、伝統的工艺品産業の振興を図る。

ア 県内関係機関との連携

市町村や商工団体、地域の商店街、技能士会等が実施するイベントへの参加等、関係団体との連携を図り、より多くの県民の方々の伝統工芸に触れる機会を増やすとともに、伝統工芸に関する理解を深める。

イ ワークショップ・講演会等の実施

県内外の知識人や著名な工芸家、熊本県伝統工芸協会、熊本県技能士会

連合会等と連携して県内の学校、博物館、美術館等施設を活用した体験教室（ワークショップ）や講演会等を年間20回程度開催する。特に、夏休みや休日等を利用して子どもたちが伝統工芸に触れる機会を作る。

ウ 県内施設・団体との連携事業

KKRホテル等の県内商業施設や文化教育施設、団体等と連携して作品を共同開発し、各現場や授業の中で伝統的工芸品を使用してもらうことにより、伝統工芸の良さを体感してもらう。さらに、その様子を発信し、広く県民に対して伝統工芸の価値を認識してもらう。

エ 熊本の伝統工芸の魅力発信事業

熊本城周辺施設や県内外の施設とも連携し、実演や体験教室、講演会等の活動を通して熊本の伝統工芸に関する情報を発信する。

第2 収支予算書

令和6年度 収支予算書案

(単位:円)

科 目	指定管理事業		財団工芸品 等収集事業	公益目的 事業	法人会計	予算総合計	前年度 最終予算額
	ショップ部門 予算額	指定管理部門 予算額					
事業活動収支の部							
1 事業活動収入							
基本財産運用収入	0	0	0	0	2,000	2,000	2,000
基本財産利息収入					2,000	2,000	2,000
特定資産運用収入	0	1,000	0	0	0	1,000	1,000
退職給与引当利息		1,000				1,000	1,000
研修助成積立金利息		0				0	0
工芸品等取得資金利息		0				0	0
事業収益	5,900,000	8,050,000	0	0	0	13,950,000	18,250,000
運営事業収入		50,000				50,000	50,000
販売手数料等収入	4,500,000					4,500,000	9,400,000
ネットショップ売上収入	900,000					900,000	100,000
商品売上収入	500,000					500,000	700,000
広告料負担金収入	0	0				0	0
使用料・観覧料収入		8,000,000				8,000,000	8,000,000
受取指定管理料	0	82,300,000	0	0	0	82,300,000	79,123,000
県受託金収入		82,300,000				82,300,000	79,123,000
寄付金収入	0	1,000	0	0	0	1,000	1,000
寄付金収入		1,000			0	1,000	1,000
受取協賛金	0	0	0	0	0	0	0
受取協賛金等収入		0				0	0
雑収入	0	50,000	0	0	1,000	51,000	351,000
運用財産受取利息					1,000	1,000	1,000
雑収入		50,000				50,000	350,000
他会計からの繰入金収入			0	4,253,000	1,933,000	6,186,000	6,211,000
事業活動収入計	5,900,000	90,402,000	0	4,253,000	1,936,000	102,491,000	103,939,000
2 事業活動支出							
事業費支出計	16,950,000	71,944,000	0	4,153,000	0	93,047,000	91,778,000
給料手当	6,509,000	18,280,000		1,037,000		25,826,000	28,787,000
臨時雇賃金	3,110,000	6,316,000		724,000		10,150,000	9,149,000
賞与	2,204,000	2,978,000		355,000		5,537,000	5,481,000
退職給付費用	0	0		0		0	230,000
退職年金掛金	420,000	519,000		70,000		1,009,000	936,000
福利厚生費	1,467,000	5,110,000		347,000		6,924,000	7,074,000
報酬	0	50,000		0		50,000	20,000
会議費	5,000	148,000		10,000		163,000	263,000
旅費交通費	35,000	1,625,000		50,000		1,710,000	1,210,000
交際費	0	305,000				305,000	505,000
通信運搬費	600,000	1,849,000		10,000		2,459,000	1,959,000
広告料	50,000	680,000		0		730,000	630,000
車両購入費					0	0	0
消耗什器備品費	0	50,000		0	0	50,000	350,000
消耗品費	400,000	1,795,000		30,000		2,225,000	2,025,000
修繕費	0	2,000,000		0		2,000,000	1,000,000
印刷製本費	50,000	1,030,000		70,000		1,150,000	1,150,000
光熱水料費	0	8,800,000		0		8,800,000	8,800,000
賃借料	150,000	1,030,000		0		1,180,000	1,080,000
保険料	0	40,000		40,000		80,000	80,000
支払手数料	350,000	190,000		10,000		550,000	600,000
諸謝金	20,000	940,000		100,000		1,060,000	1,060,000
租税公課	650,000	4,919,000		0		5,569,000	5,569,000
工芸品収集費		50,000				50,000	50,000
支払負担金支出	0	1,130,000		0		1,130,000	1,130,000
支払助成金支出	0	1,000,000		1,000,000		2,000,000	1,000,000
委託費	30,000	10,860,000		300,000		11,190,000	10,690,000

商品仕入費	840,000					840,000	840,000
雑費	60,000	240,000				300,000	100,000
雑損失	0	10,000		0		10,000	10,000
管理費計	0	0	0	0	1,936,000	1,936,000	2,611,000
役員報酬					300,000	300,000	300,000
給料手当					696,000	696,000	1,008,000
賞与					0	0	50,000
退職給付費用					0	0	0
退職年金掛金					0	0	0
福利厚生費					114,000	114,000	253,000
報酬					10,000	10,000	210,000
会議費					100,000	100,000	30,000
旅費交通費					50,000	50,000	50,000
通信運搬費					30,000	30,000	30,000
消耗品費					50,000	50,000	50,000
修繕費					10,000	10,000	10,000
印刷製本費					15,000	15,000	15,000
光熱水料費					165,000	165,000	65,000
賃借料					35,000	35,000	35,000
保険料					10,000	10,000	58,000
支払手数料					20,000	20,000	20,000
委託費					150,000	150,000	396,000
租税公課					181,000	181,000	31,000
他会計への繰入金支出	0	6,186,000	0	0	0	6,186,000	6,211,000
事業活動支出計	16,950,000	78,130,000	0	4,153,000	1,936,000	101,169,000	100,600,000
事業活動収支差額	-11,050,000	12,272,000	0	100,000	0	1,322,000	3,339,000
投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
特定資産取崩収入計	0	4,253,000	0	1,000,000	0	5,253,000	3,603,000
退職給付引当特定預金取崩収入						0	310,000
工芸品等取得積立取崩収入						0	0
財政調整積立金取崩収入		4,253,000				4,253,000	3,603,000
研修助成金積立取崩収入				1,000,000		1,000,000	0
展示会開催積立取崩収入		0				0	0
投資活動収入計	0	4,253,000	0	1,000,000	0	5,253,000	3,603,000
2 投資活動支出							
特定資産取得支出計		0		0		0	1,000
退職給付引当特定預金支出						0	0
工芸品等取得積立金支出						0	0
財政調整積立金支出		0				0	0
研修助成金積立金支出		0		0		0	0
展示会開催積立金支出		0				0	0
固定資産取得支出計		0	0	0	0	0	0
工芸品取得支出				0		0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	191,000
投資活動収支差額		4,253,000	0	1,000,000		5,253,000	3,412,000
予備費支出	0	800,000	0	100,000	0	900,000	900,000
予備費	0	800,000	0	100,000	0	900,000	900,000
当期収支差額	-11,050,000	15,725,000	0	1,000,000	0	5,675,000	5,728,000